

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

## 2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する 地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策

11 項目 155,200

### <環境政策局>

#### ◇地球温暖化対策条例の改正及び新計画の策定 <充実> 8,000

地球温暖化対策については、17年4月に施行した「京都市地球温暖化対策条例」に基づき、その行動計画である「京都市地球温暖化対策計画」を策定し、市民及び事業者等の協力の下、様々な取組を進めてきており、21年度からは、条例の改正及び新計画の策定について、23年度からの施行に向けて、地球温暖化対策推進委員会で審議を進めている。

22年度は、パブリックコメント等を通じた多くの市民、事業者等からの意見を踏まえ、条例を改正し、新計画を策定する。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

#### ◇「環境モデル都市・京都」推進事業 <新規> 10,000

##### ◆環境にやさしいライフスタイルへの変革プロジェクト 8,000

21年度末に、「環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議」から提言を受けける予定である。22年度は、提言を踏まえ、民間団体が自ら実施するライフスタイル変革のための取組に対する助成を行うとともに、京都市は社会実験を実施する。これらの成果については、報告会を開催し、京都に留まらず広く全国に発信していく。

##### ◆「木の文化を大切にすまち・京都」推進事業 2,000

21年度末に、「『木の文化を大切にすまち・京都』市民会議」から提言を受けける予定である。22年度は、本格的に開始する「木の文化を大切にすまち・京都」戦略を推進する取組とその成果の周知を図るため、シンポジウム及び「平成の京町家」見学会を開催する。

全体事業費 13百万円

(局配分枠3百万円、未来まちづくり推進枠10百万円)

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

◇「DO YOU KYOTO?」プロジェクト147万人推進事業

<充実> 15,000

「DO YOU KYOTO?」(環境にいいことしていますか?)を広く市民や観光客に発信していくため、「DO YOU KYOTO?」を市バス車体全体に塗装したラッピングバスを、全7台走行させる。

全体事業費 20百万円

(局配分枠5百万円, 未来まちづくり推進枠15百万円)

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

◇次世代自動車普及促進事業

<充実> 33,000

次世代自動車を新たに購入し、カーシェアリング実施台数を増やすとともに、実施箇所の拡大など市民の利便性を向上し、利用機会を拡充することにより、次世代自動車の更なる普及促進を図る。

◆カーシェアリング(公用車及び市民・事業者向け) 17,000

実施台数 5台→7台

実施箇所(市民向け) 1か所(御池駐車場)→3か所(定期的に拠点を移動)

市民の利用機会 4回(休日1日単位)／週

→78回(全日半日単位)／週

◆電気自動車等用太陽光発電充電設備設置 16,000

電気自動車等の走行環境を整備するため、太陽光発電充電設備を市内に3基増設する。

市内充電設備設置数 40基→43基

(うち太陽光発電充電設備 6基→9基)

全体事業費 49百万円

(局配分枠16百万円, 未来まちづくり推進枠33百万円)

[環境政策局 環境管理課 TEL 213-0930]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

## 【局配分枠における主な新規・充実事業(環境政策局)】

### [新規事業]

◇小水力発電導入可能性調査事業	3,000
◇バイオマス活用推進計画の策定	9,800
◇包装材削減推進京都モデルの構築	14,300
◇イベント等のエコ化の推進	7,300

### [充実事業]

◇太陽光発電普及促進事業	全体事業費 110,460 千円 (うち充実分 55,320 千円)
◇こどもエコライフチャレンジ推進事業	全体事業費 19,100 千円 (うち充実分 7,210 千円)
◇中小事業者省エネ総合サポート事業	全体事業費 23,654 千円 (うち充実分 2,665 千円)
◇事業ごみ及び業者収集マンションごみの資源化対策	全体事業費 25,338 千円 (うち充実分 12,241 千円)

## <産業観光局>

◇地域産材普及供給体制整備事業	<新規>	5,000
-----------------	------	-------

地域産材の積極的な活用を促進するため、その供給情報を一元化し、木材の調整・管理を行う「地域産材ストック情報システム」の開発に向けた調査・検討を行う。

併せて、地域産材の生産・流通・消費関係者等による「木の文化を具体化する推進委員会(仮称)」を設立・運営する。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

## 【局配分枠における主な新規・充実事業(産業観光局)】

### [新規事業]

◇「京の苗木」生産供給体制整備事業	5,000
-------------------	-------

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

## <都市計画局>

### ◇京町家の保全・再生策の策定及び推進 <新規> 3,000

京町家の保全・再生を推進するため、20～21年度に実施した実態調査の結果を分析、公表するとともに、21年度に検討している不動産管理信託が円滑に活用されるよう、行政の整えるべき仕組みづくりに取り組む。

[都市計画局 景観政策課 TEL 222-3397]

### ◇京都環境配慮建築物認証制度 (CASBEE 京都) の策定及び普及啓発 <新規> 4,500

低炭素と景観の二つの観点から建築物を評価する、京都独自の認証基準である「京都環境配慮建築物認証制度 (CASBEE 京都)」を策定するとともに、実際の運用 (インセンティブの付与、評価方法、評価機関のあり方等) に関する検討や、一般市民及び事業者への普及啓発を行う。また、21年度の検討対象としていない既存建築物や改修に関する基準についても詳細な検討を行い、基準策定等を行う。

[都市計画局 建築指導課 TEL 222-3620]

### ◇平成の京町家普及・促進事業 <新規> 32,000

低炭素で景観に配慮した「平成の京町家」の建設を促進するため、事業者、学識経験者等による組織を立ち上げ、普及啓発を行うとともに、モデル住宅展示場の整備、伝統構法による住宅建設に対する助成を行う。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

## <建設局>

### ◇都市緑化事業 (街路樹整備) <充実> 25,000

街路樹に被われた「道路の森づくり」を目指し、低木の植栽のみの中央分離帯に、新たに高木を植栽することにより、都市緑化の推進を図る。

22年度は、川端通 (今出川通～冷泉通間)、北大路通 (東大路通～叡山電鉄間) において、事業を実施する。

[建設局 緑地管理課 TEL 222-3586]

(2 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策，低炭素社会の構築に資する施策)

[単位：千円]

◇市民の記念植樹奨励制度 <新規> 1,700

結婚・出産・還暦や企業の創立等の記念に、市民等に植栽費の一部を負担していた  
だき、本市が管理する公園の樹木，街路樹等として植樹を行う制度を創設する。

22年度は、宝が池公園において植樹を実施する。

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

## 【局配分枠における主な新規・充実事業(建設局)】

[新規事業]

◇緑視率調査 3,000

## <教育委員会>

◇学校エコ改修と環境教育事業 <新規> 18,000

環境モデル都市の取組の一つとして、環境省の補助事業を活用し、学校施設の省エネ  
ルギー化と環境教育の充実を図る。

整備実施校 朱雀第四小学校

年次計画 21年度 研究会の設置，整備内容検討など

22年度 実施設計

23年度 改修工事

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]